

あいちハートクリニック

開院時から診療情報統合システム STELLAR の導入を検討
直感的に使用できるシステムで効率のよい診療に貢献



STELLAR 使用風景

導入経緯

従前から利用しており開院時に導入を提案

従前の施設にて、診療統合システム STELLAR（ステラ）を利用しており、開院時に導入を提案しました。もともと、電子カルテと臨床データを分離した考え方を持っていたので、全てのデータを電子カルテで管理するのではなく、ステラのように画像・血液検査・スキャンデータ・レポートなどが PACS の枠を超えて、データベースとして参照することができるソフトウェアは非常に魅力でした。

電子カルテでは、各データを参照するためには、別の部門システムに接続することがあります。ステラにはさまざまな診療データが蓄積されており、診療支援ソフトウェアとして非常に使いやすく、各データを一覧で参照することが可能となっています。ですので、電子カルテはシンプルに記事を書いて、オーダーを出す機能があればいいと考え、ステラを中心のデータベースとして使用しています。

コストと連携の柔軟性・ニーズの一致

ステラはとてもコストパフォーマンスが良かったと思います。各種システム／機器との連携も柔軟に対応していただきました。例えば電子カルテでは、ファイルメーカーを使ってユーザ側で作成したものを使用しているのですが、電子カルテで作ったレポートなども、ステラで受け取ることができます。また、静脈瘤の手術をする患者さんの治療前後の診療情報を参照したい時など、これを時系列で分かりやすく見ることが可能です。

当院では、循環器内科医師と心臓血管外科医師が、ひとりの患者さんに診療を行っています。そのため、静脈瘤の手術をする際に、同じ患者さんの違う治療かつ治療前後の診療情報を参照したいのです。

両方の科でデータの共有ができる医療支援ソフトウェアを探しており、ステラはまさに私どものニーズに合致していました。

導入効果

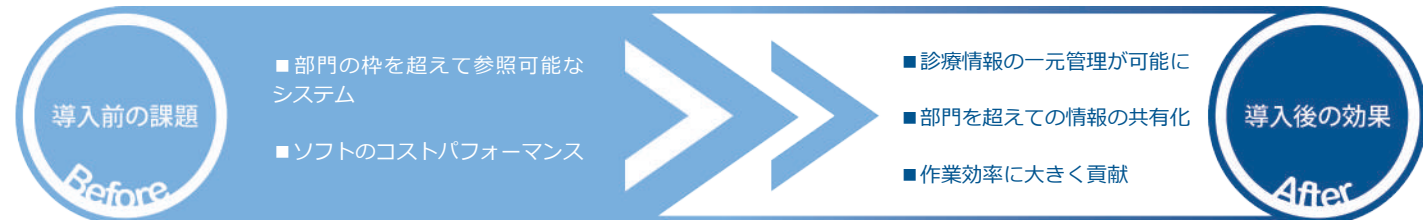
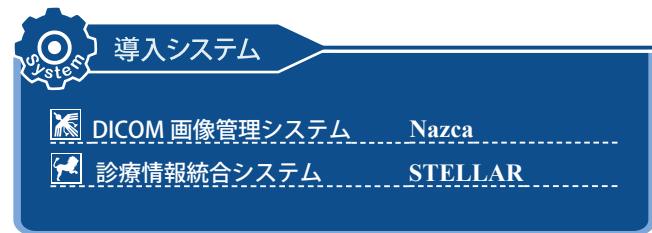
紙カルテ時代の名残で使い勝手がいい

以前は検査画像を参照しながら、電子カルテの画面を開いておりました。PACS ではすべての診断情報を参照できないため、PACS ありきの仕事では使いづらく、画像の参照後に記憶を頼りに電子カルテ画面を見ておりました。しかし、ステラは診療情報が一元管理されているので非常に見やすく、あちこちの画面に操作が飛び回る必要がないので、画面操作について考えなくとも直感的に診療情報を参照することができます。

また、診断ありきで画像を参照したいケースでは、紙カルテ時代の名残でとても使い勝手が良いと思います。例えば、データを取り込む仕事がある医事課では、診断を見てからなぜこうなったのか過程を見たい時があります。その際、診断と画像を同時に確認できるステラは、ニーズにとっても沿っていました。作業効率もいいので、部門の手助けという面でも、効率的な診療に大きく貢献しています。加えて BI ツールもあり、データが取り出せ、統計データを作成できるのはとてもありがたい機能です。



あいちハートクリニック スタッフの皆さん



あいちハートクリニック：システム導入時期 / Sep 2017



あいちハートクリニックは、この度 2017 年 9 月 1 日に開院し、循環器疾患を専門に上げつつ、内科・外科の一般疾患についても、日々丁寧な診療を心がけています。そして"かかりつけ医（家庭医）"としての役割を意識し、明るく落ち着いた癒しの空間で、ホスピタリティーを重視した医療サービスの提供に努めております。

また、熟練した専門のスタッフによる、心エコー検査、負荷心電図検査、最先端 CT 検査、心臓カテーテル検査及び治療、下肢静脈瘤治療（レーザー治療）、日帰り外科手術、などが可能です。創部ケロイド、しみ、そばかすなどの美容的治療につきましても、医師、看護師による医療用レーザーを用いた脱毛をはじめ、レーザーによるフェイシャルケアと組み合わせた各種ビタミンの浸透療法などクリニックならではの満足度の高いサービスを行っています。患者様やお客様との対話を通じて意思の疎通、信頼関係を大切に考え、何でも気軽に相談に来ていただける敷居の低いクリニックであると同時に、より高い医療サービスの提供ができるクリニックであるようスタッフ一同努力しております。

所在地：愛知県知立市東上重原 6-70
診療科：循環器内科・心臓血管外科・内科・外科・静脈瘤レーザー治療

今後の方針

大きな病院には無い、細やかなおもてなしと心遣いを心掛けてまいります。専門病院だからこそ、強みを生かした小回りの利く地域に密着した医療を提供し続け、患者様を優先した医療に今後も地道に取り組んでいきます。

今後の期待・要望

- ① 会社が大きくなっても、今までのベンチャー気質で、柔軟性と機動性を保って欲しいです。今はかなり早く動いていただいていますので、腰が重い企業にならないで欲しいです。
- ② アップデートリリースのペースを保って欲しいです。
- ③ 他社では行っていないことですが、是非やっていただきたいことは、ユーザへのシステムの改修場所や追加機能に関する告知です。使いたれた機能にいきなり変更があるのは困るので、どうしてもやめていただきたい変更がある場合には、早めにこちらの要望を伝えられたらと思います。

システム構成図

